

報道関係各位

2025年7月18日

産業技術総合研究所のディープテック人材育成事業 「覚醒プロジェクト」2025年度の採択者が決定

AI、生命工学、材料・化学、量子の研究テーマを27件採択
社会課題解決に挑む若手人材による研究開発を産総研が伴走支援

株式会社角川アスキー総合研究所（本社：東京都文京区、代表取締役社長：加瀬典子）は、国立研究開発法人産業技術総合研究所のディープテック研究人材育成事業「覚醒プロジェクト」が、2025年度の研究開発者を採択したことをお知らせします。

角川アスキー総合研究所は、産業技術総合研究所より受託した業務実施機関として本事業を推進します。



「覚醒プロジェクト」は、若手人材が産業技術総合研究所の保有する先端的研究設備を活用することで、ディープテック分野における独創的かつ斬新な研究開発を推進し、社会課題解決にチャレンジするプロジェクトです。

2025年度は、4つの研究領域（AI、生命工学、材料・化学、量子）について、若手研究者による独創的かつ斬新なディープテック研究の開発テーマを募集し、厳正な審査の結果、先進的で独創的な27件を採択しました。

採択されたテーマの研究実施者は、本事業のプロジェクトマネージャー(PM)やスーパーバイザー(SV)、産業技術総合研究所の受入研究者による伴走支援、300万円の支援、産業技術総合研究所が保有する最先端研究環境の無償利用、そして採択者や経験豊富な支援人材とのネットワーク形成支援などを受けながら、2026年3月末まで研究を推進していきます。

採択された研究実施者、研究テーマ、担当PM、ならびに産総研受入担当者（敬称略）

研究実施者	所属	研究テーマ	担当PM	受入研究者
渡邊謙吾	慶應義塾大学大学院	Script2Name - 脚本に基づく漫画のネーム自動生成システムの開発	大西正輝	大西正輝 唐木田亮
中山穰	横浜国立大学総合学術高等研究院	強化学習と物理モデリングを用いた自律的リスク分析手法の開発		
加藤祥太	京都大学大学院	自然言語・図表を用いた物理モデルの意味的評価とアクティブモデリング環境の構築	牛久祥孝	石垣達也 高村大也
野中敬翔	青山学院大学大学院	英語論文のCJK 翻訳における文書構造及び文脈保持技術の開発		石垣達也

鈴木陽大	東京科学大学情報理工学院	統合的三次元データ復元技術の開発：性能・汎用性・信頼性の観点から	金崎朝子	吉安祐介
安木駿介	立教大学大学院	ディープビジョンモデルの特徴表現解析による信頼可能な予測根拠説明技術の確立		
坂上温紀	奈良先端科学技術大学院大学	内部表現を用いたマルチモーダル言語モデルの内部機序の説明	谷中瞳	高村大也
三林亮太	神戸大学大学院	「読み」を考慮した LLM の構築		
磯野凌輔	東京科学大学情報理工学院	解釈性・汎化性・頑健性を兼ね備えたマルチモーダル衛星画像合成による雲除去技術の研究	井本桂右	濱口竜平
宮下敦志	名古屋大学大学院	群論に基づくドメイン頑健な分離表現のメタ学習		
川久保修佑	東京大学医科学研究所	ウイルス感染症の将来の流行規模を予測するシステムの開発	阿部敬悦	古賀隆一
山本圭太	東京大学大学院	治療応用を目指した CRISPR/Cas13 蛋白質の最適化		加藤義雄
東一織	東京大学大学院	薬学的知識を活用した解釈可能な薬物相互作用予測モデルの開発	瀬々潤	今井賢一郎
小栗舜平	東京大学大学院	数理モデルから IGF シグナルダイナミクスを解き明かす		川田健太郎
及川大樹	京都大学大学院	セサミノールの摂取が短鎖脂肪酸の蓄積増大をもたらすメカニズムの解明	湯元昇	関口勇地
徳永悠希	東京大学大学院	標的と特異的かつ不可逆に結合する抗体模倣分子の開発		渡邊秀樹
江川秀夫	創価大学大学院	ヒト特異的なゲノム領域による第 3 の生命鎖「糖鎖」の発現制御とその役割の解明	木下聖子	鍵和田晴美
渡邊慧	埼玉大学大学院	AI を用いた新規リグニン構造の提案と開発		坂本真吾
山本雅納	東京科学大学物質理工学院	多孔性グラフェン材料担体による気相触媒反応の開発	谷池俊明	森本崇宏 藤谷忠博
四本優斗	大阪大学大学院	材料開発加速のための知識ベース型自動結晶相同定システムの開発		山口祐貴
長田浩一	東北大学大学院	実験・理論・機械学習の融合により加速する太陽光駆動型分子性金属酸化物による CO2 資源化法の開拓	藤井幹也	中村功 藤谷忠博
近藤慎司	大阪大学大学院	アルカリ金属二次電池を実現する被膜形成添加剤のデータ駆動型設計基盤の構築		河野 雄樹
岩崎瑛大	九州大学大学院	細胞培養用表面改質セルロースナノファイバー足場材料の開発および特性解析	長藤圭介	熊谷明夫
橋本大二郎	北陸先端科学技術大学院大学	汎用オートサンブラおよびそれを用いた全自動顕微鏡観察システムの開発		申ウソク
望月泰英	東京科学大学物質理工学院	対称性から紐解く結晶内の化学結合と固体表面の安定構造	西堀 麻衣子	福島鉄也
皆川敬哉	東京理科大学大学院	半導体薄膜の電子輸送特性分布の可視化を目指した光励起電気抵抗トモグラフィ法の開発		森本崇宏
山岡悠	大阪大学量子情報・量子生命研究センター	犬の鼻を目指す、量子センサと量子情報処理による次世代嗅覚認識系の構築	藤巻 朗	天谷康孝 鈴木洋一

PM・SV・受入研究者一覧

それぞれの研究実施者に伴走・アドバイスするプロジェクトマネージャー(PM)、本事業全体に対して助言いただくスーパーバイザー (SV)、産業技術総合研究所の受入研究者は以下の方々です。

■SV

AI 領域：松原 仁（京都橘大学 工学部情報工学科・大学院情報学研究科 教授）

■SV兼PM

AI 領域：大西 正輝（産業技術総合研究所 人工知能研究センター 社会知能研究チーム 研究チーム長）

■PM

AI 領域：牛久 祥孝（株式会社 NexaScience 代表取締役）

AI 領域：金崎 朝子（東京科学大学 情報理工学院 准教授）

AI 領域：谷中 瞳（東京大学大学院 情報理工学系研究科 准教授（卓越研究員））

AI 領域：井本 桂右（京都大学大学院 情報学研究科 准教授）

生命工学領域：阿部 敬悦（東北大学大学院 農学研究科 教授）

生命工学領域：瀬々 潤（株式会社ヒューマノーム研究所 代表取締役社長）

生命工学領域：湯元 昇（神戸大学 先端バイオ工学研究センター 客員教授）

生命工学領域：木下 聖子（創価大学 糖鎖生命システム融合研究所 副所長・教授）

材料・化学領域：谷池 俊明（北陸先端科学技術大学院大学 教授）

材料・化学領域：藤井 幹也（奈良先端科学技術大学院大学 データ駆動型サイエンス創造センター 先端科学技術研究科 教授）

材料・化学領域：長藤 圭介（東京大学大学院 工学系研究科 教授）

材料・化学領域：西堀 麻衣子（東北大学国際放射光イノベーション・スマート研究センター 教授）

量子領域：藤巻 朗（名古屋大学 未来社会創造機構 特任教授）

■産総研 受入研究者

AI 領域：唐木田 亮（人工知能研究センター 機械学習研究チーム）

AI 領域：石垣 達也（人工知能研究センター 言語情報研究チーム）

AI 領域：高村 大也（人工知能研究センター 言語情報研究チーム）

AI 領域：吉安 祐介（人工知能研究センター コンピュータビジョン研究チーム）

AI 領域：濱口 竜平（人工知能研究センター 社会知能研究チーム）

生命工学領域：古賀 隆一（モレキュラーバイオシステム研究部門 バイオシステム多様性研究グループ）

生命工学領域：加藤 義雄（モレキュラーバイオシステム研究部門 バイオ構造活性相関研究グループ）

生命工学領域：今井 賢一郎（セルフケア実装研究センター 生理機能・データ解析研究チーム）

生命工学領域：川田 健太郎（細胞分子工学研究部門 細胞動態システム研究グループ）

生命工学領域：関口 勇地（モレキュラーバイオシステム研究部門）

生命工学領域：渡邊 秀樹（モレキュラーバイオシステム研究部門 バイオシステムデザイン研究グループ）

生命工学領域：鍵和田 晴美（細胞分子工学研究部門 生物データサイエンス研究グループ）

生命工学領域：坂本 真吾（バイオものづくり研究センター 植物分子生産研究チーム）

材料・化学領域：森本 崇宏（ナノカーボン材料研究部門 ナノデバイス・評価研究グループ）

材料・化学領域：藤谷 忠博（化学プロセス研究部門）

材料・化学領域：山口 祐貴（マルチマテリアル研究部門 カーボンニュートラル材料研究グループ）

材料・化学領域：中村 功（化学プロセス研究部門 固体触媒プロセス研究グループ）

材料・化学領域：河野 雄樹（化学プロセス研究部門 分離材料研究グループ）

材料・化学領域：熊谷 明夫（機能化学研究部門 セルロース材料研究グループ）

材料・化学領域：申 ウソク（マルチマテリアル研究部門）

材料・化学領域：福島 鉄也（マテリアル DX 研究センター 第一原理材料設計研究チーム）

量子領域：天谷 康孝（量子・AI 融合技術ビジネス開発グローバル研究センター量子センサー研究チーム）

量子領域：鈴木 洋一（量子・AI 融合技術ビジネス開発グローバル研究センター量子アプリケーションチーム）

本事業の詳細は、覚醒プロジェクト 公式Webサイトをご覧ください

<https://kakusei.aist.go.jp/r7/>

ディープテック とは

特定の自然科学分野での研究を通じて得られた科学的な発見に基づく技術であり、その事業化・社会実装を実現できれば、国や世界全体で解決すべき経済社会課題の解決など社会にインパクトを与えられるような潜在力のある技術。（経済産業省 産業技術環境局、「ディープテック・スタートアップ支援事業について」より引用）

株式会社角川アスキー総合研究所について

角川アスキー総合研究所は、メディア運営やコンテンツ制作で培った知見を活かし、調査、コンサルティング、マーケティング、ビジネスソリューション、出版、教育支援など幅広く事業を展開しています。コンテンツ力、メディア力、リサーチ力を総合的に活用し、お客様の課題解決に取り組めます。

公式サイト：<https://www.lab-kadokawa.com/>

【本件に関する報道関係からのお問い合わせ】

株式会社角川アスキー総合研究所 広報担当 堀

press-cp@lab-kadokawa.com